学校番号	２０３

令和３年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	FLEX English Communication　Ⅰ 同　予習ノート　　（増進堂）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。説明や物語を読んで、内容を理解するとともに、自分の考えや意見を英語で伝えられるようにしましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。	インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。	ライティングテスト 定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要や要点、詳細をとらえることができる。	リスニングテスト 定期考査	・説明や物語などを読んで､情報や考えなどの概要や要点､詳細をとらえることができる。	リーディングテスト 音読テスト 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (7時間) Behind Kumamon	くまモンについて	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークの中で、英語を使って会話をすることができている。	・くまモンが日本だけでなく、世界でも人気がある背景を読み取る。	・くまモンはどんなキャラクターなのかを理解しようとしている。	・ペアワークでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・くまモンの特徴や人気の背景について、英語で説明することができる。	・本文を音読し、英語の音の特徴を理解する。	・本文の内容についての英問英答や、知りえた情報を英語で説明することができる。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文の内容を理解し、正確に書いたり話したりすることができる。	・各セクションの内容に関する問題をとく。	・本レッスンの英文を聞いて、大まかな概要を理解できる。	・予習ノートや教科書の問いに答える。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・くまモンが日本だけでなく、世界で注目を浴びていることを知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・受け身や不定詞、受動態について、それぞれの働きを理解している。	・くまモンが有名になった背景を、日本語で書かせて判断する。
Lesson 2 (7時間) Hacking Your Brain	脳を分析する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文で学んだ内容について、他の人に英語を使って伝えることができる。	・新出英単語の意味や発音の仕方を、ペアになって問題を出し合う。	・試合で勝つためには、脳が密接にかかわっていることを読み取ろうと努めている。	・ペアワークでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文で学んだ内容について、授業で習った表現を用いて要約することができる。	・リテリングを実施し、各パートごとに要約できるかをペアワークで確認する。	・進行形、間接疑問文など、本文中に出てきた語法を理解することができる。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・関係代名詞の表現を的確に把握し、その使い方と内容を理解することができる。	・各セクションの内容に関する問題をとく。	・摩擦音や破裂音などに注意して音読することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・スポーツの上達や、実際にプレーとして技能を発揮するには脳が密接に関連していると理解している。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・進行形、間接疑問文、分詞の表現、それぞれの意味や働きを理解している。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (7時間) It’s Always Sunny in Space!	宇宙における太陽光発電の計画について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのQ&Aをワークシートにメモし、ペアで伝え合う。	・SSPS計画とは何か、理解しようと努めている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・本文の内容を要約した文章を英語で書けるようになる。	・各セクションの内容を口頭で要約する。	・類似している2つの音の違いに注意し、提示された英文を音読することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・本文で出てきた表現の意味や使い方を理解する。	・Retelling を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・時制を的確に把握し、時系列に沿って説明することができる。	（本単元では設定しない）
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・宇宙の発電方法という難しいテーマの内容を理解することができる	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・科学技術をもとに、宇宙エネルギーを利用して地球を守るという内容をつかむことができる。	・内容理解も含め、背景知識が理解できているかテストを実施する。
Lesson 4 (7時間) Malala: Fighting for Women’s Rights	女性の権利のために戦うマララさんについて	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・アフガニスタンへのイメージについて間違いを恐れずにペアで話し合う。	・マララがどのような環境下で生まれ育ったのかを読み取ろうとしている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文の内容で知りえた情報を英語で説明することができる。	・リテリングを実施し、各パートごとに要約できるかをペアワークで確認する。	・本文の内容で感じたことや考えたことを英語で書いてみる。	・ペアワークでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララがどういう気持ちで過ごしてきたのかを理解することができる。	・教科書で使用されている画像などを見ながら内容とイメージをつかむ。	・母音、子音の音に注目して、本文を音読することができる。	・予習ノートや教科書の問いに答える。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去完了形の塚方人意味を理解することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・マララの活動内容から、教育が平等に受けられていないという社会的な視野を持てている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 （7時間） Mount Fuji	富士山の歴史について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける	・ペアワークで富士山を見たことがあるかという質問を互いにする。	・富士山の特徴や日本文化としての存在を読み取ろうと努めている。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・富士山の素晴らしい点について３つ以上英語で書けるようになる。	・ワークシートを用いて、セクションごとに例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く。	・本文中に出てきた語法・熟語を使って指示に沿った適切な英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で出てきた表現の意味や使い方を理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともに、その内容を考え、理解する	・本レッスンの英文をきいて、大まかな概要を理解することができる。	・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・富士山の歴史的背景を読み取ることができる。	・同格の that について学習する。	・富士山が文化的な価値を持つものとして認識されている理由や背景を考えている。	・言語の使用場面と働きを定期テストにおいて定着を判断する。
Lesson 6 （7時間） Donald Keene and His Love of Japan.	日本文学史に携わったドナルドキーンについて	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークでドナルドキーンを知っているか英語で話し合う。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをノートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ドナルドキーンはどのような人物かを読み取ろうと努めている。	・ペアワークでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだ内容や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。	・リテリングを実施し、各パートごとに要約できるかをペアワークで確認する。	・読んだ内容を、自分の言葉で適切に書いたり話したりすることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本レッスンの内容を大まかに理解することができる。	・日本語と英語の音の違いを理解する。	・時系列順に起きた出来事に意識しながら、内容をつかむことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ドナルドキーンが日本に与えた影響を説明することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・ドナルドキーンが日本に対してどのように交じり合ったか、一連の流れを理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (7時間) Virtual Water	仮想水について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをノートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・日本はなぜ仮想水を多く使用しているのか、その背景を理解しようと努めている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだ内容や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。	・ワークシートを用いて、セクションごとに例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く。	・本文の内容について英問英答や、知りえた情報の英語による説明ができる。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・仮想水とは何かについて本文から読み取り理解する。	・図表を見て何が読みとれるかを考える。	・図表があらわす内容を理解し、図表を参考にしながら本文の内容を正確に理解できる。	・予習ノートや教科書の問いに答える。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の非制限用法や前置詞の意味や働きを理解している。	・なぜ世界で水が必要になっていくのか学ぶ。	・関係代名詞の非制限用法や前置詞の意味や働きを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 (7時間) Wearable Robots May Change Our Life	ロボットが私たちの生活を変えるかもしれない	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのQ&Aをワークシートにメモし、理解する。	・日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考えようとしている。	・机間巡視を行い、積極的に活動しているか見る。
		「外国語表現の能力」			
		・ペアワークの中で、自分の言いたいことを英語で伝えることができる。	・ワークシートを用いて、セクションごとに例示する表現を用いて簡潔な説明文を書く	・適切な位置に区切りを入れながら、本文を音読することができる。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文の内容を理解し、正確に書いたり話したりすることができる。	・Retelling を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・リズムやイントネーションを意識しながら音読することができる。	・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・山海教授が開発した、介護や運動の補助をしてくれるロボットにまつわる内容を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去、関係副詞のそれぞれの働きや形を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (7時間) Biomimicry Inspired by Nature	バイオミミクリーとは何か	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・バイオミミクリーについて分かったこと、知っていることをペアに話すことができる。	・日常の物事から何かヒントを得たことはあるかについて話す。	・バイオミミクリーとは何か読み取ろうとしている。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ペアワークで自分の言いたいことを英語で伝えることができる。	・Retelling を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・本レッスンの内容を要約したり、ほかの英語に直したりして説明することができる。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で出てきた表現の意味や使い方を理解する。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともに、その内容を考え、理解する	・本レッスンの英文をきいて、大まかな概要を理解することができる。	・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVOC の文型を理解することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・自然から得られる恩恵を理解し、それらを今後どのように活用できるか考えている。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 10 (7時間) His Holiness the 14th Dalai Lama		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・ダライラマ 14 世の過去を学ぶ。	・ダライラマ 14 世は世界でどのように知られているのかを読み取ろうと努めている。	・授業時間を利用してインタビューテストを実施する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文で学んだ内容について、授業で習った表現を用いて要約することができる。	・Retelling を利用して、セクションごとに概要を把握する。	・本文の内容についての英問英答や、知りえた情報を英語で説明することができる。	・予習ノートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文の内容を理解し、正確に書いたり話したりすることができる。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともに、その内容を考え、理解する	・時制を的確に理解し、時系列に沿って本文の内容を理解することができる。	・定期テストにおいて、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・部分否定や複合関係代名詞を理解することができる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・ダライラマ 14 世の考えや行動をもとに、これからの世界平和について考える。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。